

寒冷ITSワークショップ
平成20年8月29日（金）

テーマ「地域とITS」

～車々間通信を利用した
安全支援システム開発の実証実験～

網走市企画総務部企画調整課
課長 田 口 桂

■ 車々間通信を利用した安全技術

- 見通しの悪い交差点での危険情報のやりとり

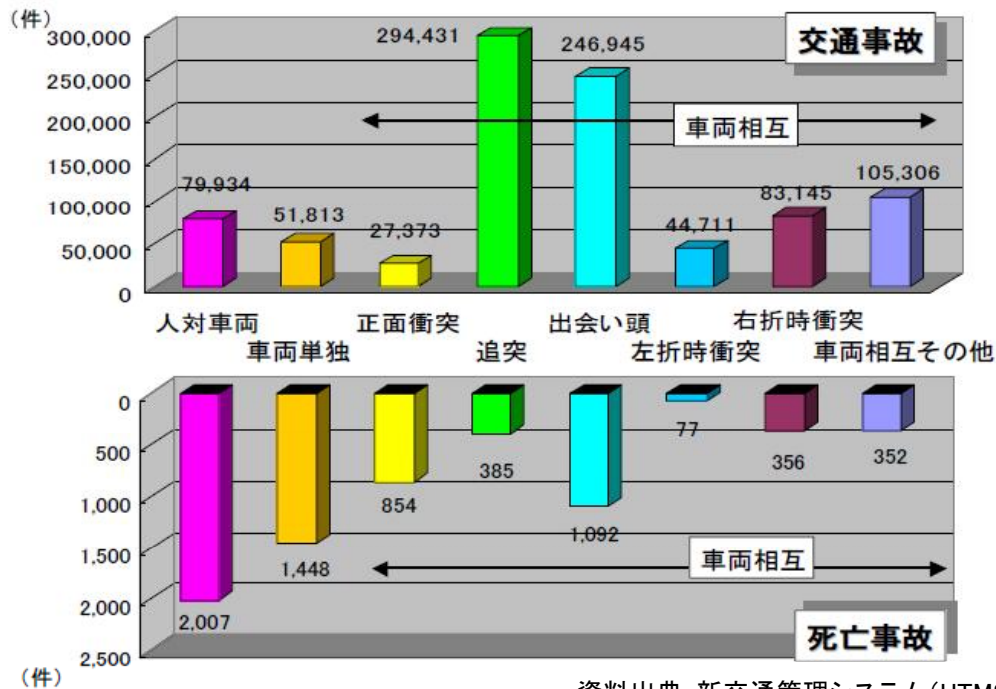
出会い頭の
衝突防止

二輪車巻き
込み防止



■ 車々間通信による交通事故防止システム開発の背景

★事故類型別交通事故発生状況(H17)



資料出典:新交通管理システム(UTMS)懇談会 H18.7

2

■ 積雪寒冷地の車々間通信を利用した安全技術

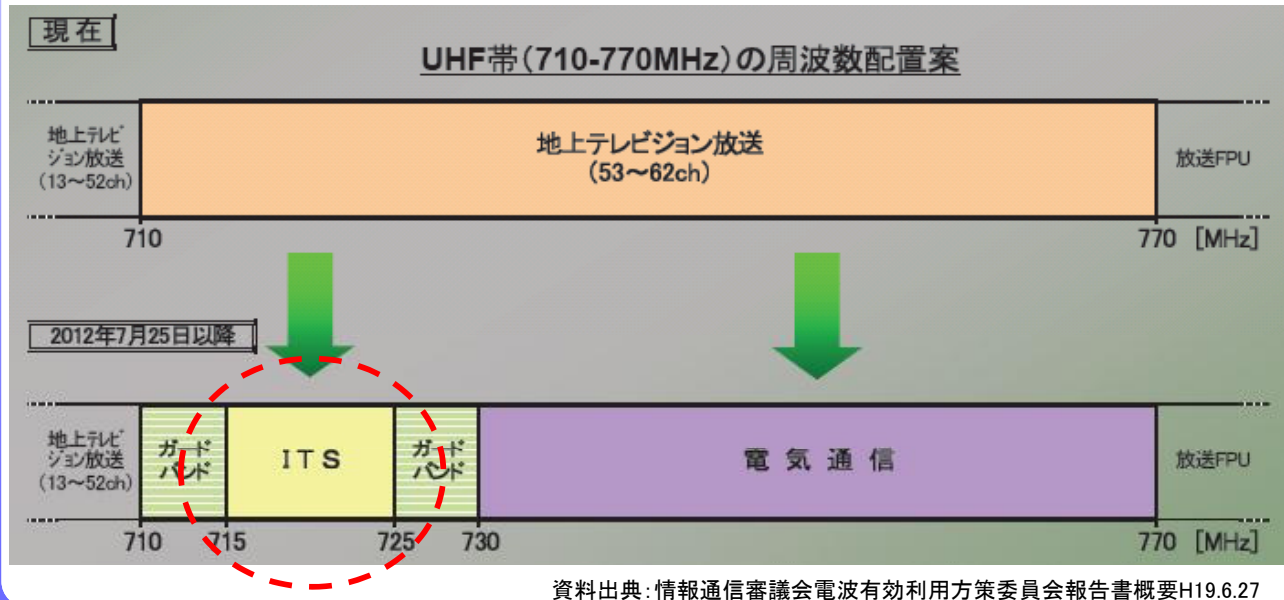
- 雪による見通しの悪い交差点
- 吹雪による視界不良により発生する追突、玉突き事故



3

■ TV・地デジ化による空き周波数帯ITSへの割り当て

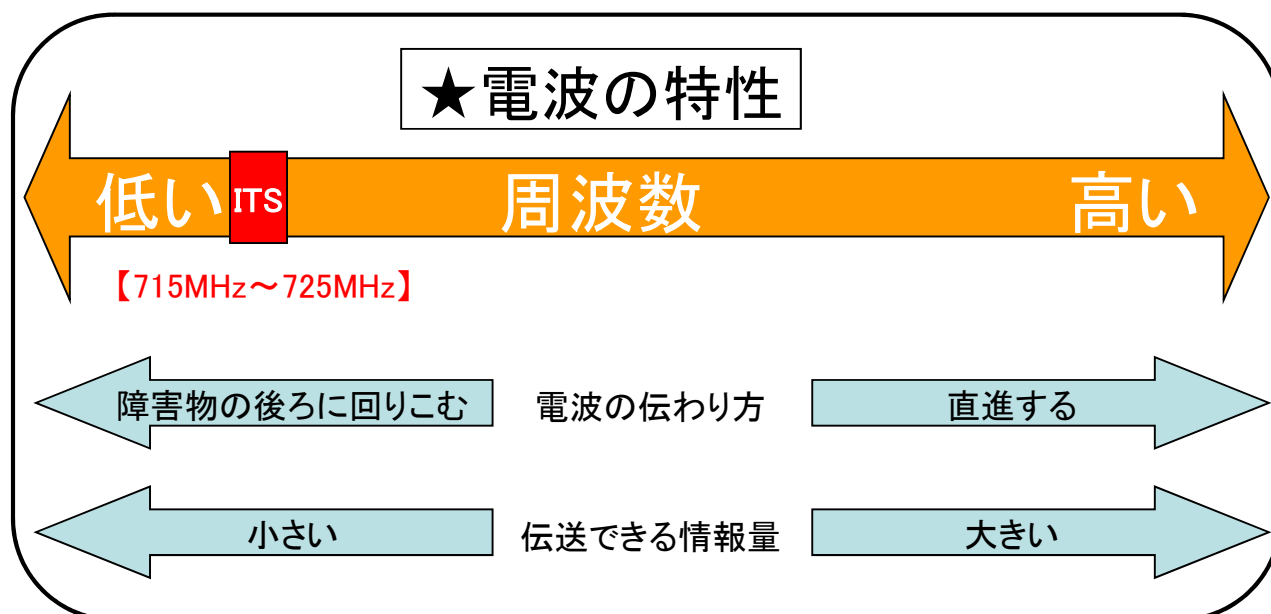
- 2011年地デジ化によりVHF/UHF帯に空き周波数帯が生じ、車々間通信システム等の実現のため「ITS」に一定の周波数帯域が確保された



4

■ ITSに確保された電波帯

- ITSに確保された電波帯は障害物の後ろに回りこむ



5

■ 実証実験を網走市内で

- ユビキタス特区の対象プロジェクト・地域に決定
⇒ 網走市とデンソーで共同提案
- これにより網走市内での実証実験が容易に行える
⇒ 実験無線局の免許取得
- 網走市での実験
⇒ 株式会社デンソー網走テストセンター
⇒ 各種道路が混在、高低差を有する適度な市街地形成、積雪寒冷地

6

■ 株式会社デンソー網走テストセンター

網走テストコース外観



敷地面積 : 550 ha
コース全長 : 20 km
最高試験スピード : 230 km/h

7

市街地での走行通信実験



8

網走市における実証実験の波及効果

- 実験のために来網する技術者による経済効果
⇒現在テストセンター来網者 年間述べ5,000人
- 国内外の研究者によるコンベンションも期待

米国

北米の衝突防止技術開発を目的とした自動車メーカー(GM,Ford,DC, TOYOTA,HONDA)のあつまりであるCAMP(Crash Avoidance Metrics Partnership)がやっている交差点での事故防止システム開発プロジェクトCICAS (Cooperative Intersection Collision Avoidance System)との連携



DAIMLERCHRYSLER



HONDA

欧州

ヨーロッパにおける車々間・路車間通信の標準化を推進している団体C2C-CC (Car 2 Car Communication Consortium)との連携
C2C-CCは、自動車会社6社 (AUDI, BMW, DC, FIAT, RENAULT, VW)を中心に電気メーカーも入る協議会



DAIMLERCHRYSLER



HONDA



具体的連携活動としては、共同実験、技術交流会を企画する

9